

平成26年度C部門大会(島根大会)でのアンケートへの対応について

主なご意見	対応
Wi-Fiサービスについて、電波が弱くて使えなかった。	アクセスポイントを多くするなど可能な限り対応いたします。
Webでの論文電子公開、Android端末では使えませんでした。Windows前提のサービスですか？	ご指摘後の調査により、Android端末に付属しているブラウザ（一般的に地球マーク）からは、見ることができない場合があるとのことわかりました。Google ChromeやFirefox ブラウザを用いると解決できることがあるとのことでした。また、iOSは問題ないとのことでした。2015年度の大会からはこのことを明記致します。
企画セッションのPR不足	より一層のPRを行うよう留意いたします。
企画・運営たいへんお疲れ様です。楽しく参加させていただいております。英語セッション等、学生向けにも充実した企画を用意していただき、ありがとうございます。特に学生としては、英語セッションが国際発表でも役立つものになるよう、原稿等、全編英語とし、発表時間を短くすることで更に活発なものにできるのではと思います。	次年度以降もよりよい大会とするよう、大会委員会で企画・運営します。English セッションを発展させたStudent Sessionを企画しております。このStudent Sessionでは原稿を英文に統一し、負担を軽減するため2頁とすることを考えております。また、英語書き方セミナーについても非常に評判が良いので継続して行っていく予定です。
English セッションについて、上記のように、本セッションで発表するにあたり、タイトルや抄録の提出から発表の質疑応答までの一連の流れがとても良い経験となりました。今後、海外発表を考える人にとって、この経験はとても参考になると思います。以上を踏まえて、本セッションに関して海外発表を見込したものとしても捉え、タイトル・抄録・論文などは全て英語で統一するののも一つの良いやり方だと思います。発表参加の敷居の下げ方については、原稿量を減らすことで対応するのも良いと思います。	
イングリッシュセッションについてですが、海外で発表する際などのあしがけとなるので、多くの方が参加でき、より活発な議論ができるように是非来年も開催してほしいと思いました。	
英語スライド作成時の注意点を直々に教えてもらえることがとても有益でした。質疑応答も含めた一連の流れが、特に今後海外で発表する人にとってもとても良い経験になると思います。発表内容に直接関係する質問以外にも、発表の流れや英語でのスライドの見やすさ、そして「何を重要視すれば良いか」など、とても有意義なアドバイスが多くあり、今後の参考となった。 세미나でも、どこに注意すれば良いかに焦点を当てており、大変わかりやすかったため、今後もあれば参加したい。	
講演の時間配分がわからないので、タイムスケジュールを作ってほしい。他のセッション等とのかけもちができない。	各講演の発表時間は、オーガナイザーに一任しており難しい問題がございますが、今後検討していきたいと思っております。
発表する時間がわからなかったもので、ホームページ上で各発表者の発表時間を表示してほしい。	各講演の発表時間は、オーガナイザーに一任しております。講演者の方は、事前にオーガナイザーに確認して頂ければと思います。

平成26年度C部門大会(島根大会)でのアンケートへの対応について

主なご意見	対応
各セッション毎の発表時間や会場の場所など、当日、現地に来てみないとわからないことが多く、ホームページからあらかじめ確認できることを希みます。	多くの情報をWebで公開できるように留意いたします。
発表件数と時間から、余裕のあるセッションでは、休み時間を設けても良いかもしれない。	休み時間の設定などは、オーガナイザーに一任しております。時間に余裕のある場合には、オーガナイザーや座長に休憩時間を設けて頂くように依頼をするように留意いたします。
発表の合間の時間削減や、発表者を明確にするために、発表者の座る場所を指定しても良いかもしれない。	今後検討していきます。
予稿集をUSBメモリ化してはどうか。	USBメモリの場合には、紛失する可能性がある、セキュリティの問題やMacOSやタブレット端末で読めないなどのデメリットがあります。参加者の利便性向上のため、昨年の部門大会より開催期間中にWeb上での論文全文公開を行っています。次年度以降も継続する予定ですので、ご活用ください。
現場・企業からの参加が多くなるようにこれからも企画していくことが大切ではないだろうか。	今後も継続してタイムリーで魅力的な企画を検討していきます。
今後参加者が増えることを期待しています。	魅力的な企画などを行うよう努めて参ります。
電子デバイスから生体工学まで様々な分野の方たちが集まり、興味深い発表を聴けて嬉しかった。セッション中も活発な質疑応答があり、自分でも気づけなかったような点も多くあったため良い刺激となった。特別講演もめったに聴く機会がないので楽しかった。	次年度以降もよりよい大会とするよう、大会委員会で企画・運営します。